

介護体験を 聞く会



ホームページ
http://www.yanagida-kaigo.co.jp/

会報第174号

平成28年8月15日発行
発行所…(有)明寿会
住所…川崎区中島1-13-3
電話044-233-0061
*定例会は最終土曜日です。
(今月は8月27日)です。

第175回

介護体験を聞く会

②在宅介護家族相談会
③グループホーム運営推進会議

*検討の目的

グループホームという新たな生活環境のなかで、楽しみをみつけ、同居者九人とともに落ち着いた生活を送る

平成28年7月30日

(土)開催

出席者(職員)…柳田院長、柳田CM、柏倉CM、飯田CM、前田、厚川、吉田、高橋、石川、小沢、杉山、工藤、佐和田、出席者(家族)…Bさんの長男、野々目さん、藤田さん、森下さん

議題

①Bさん(84歳女性)の事例検討

①Bさんの事例検討

氏名 Bさん(女性)

生年月日 昭和6年4月27日

介護度 要介護2

利用開始日 グループホームショートステイから開始。平成27年12月5日～12月11日

平成27年12月12日よりグループホーム本入居

*出身地 神奈川県横浜

趣味 歌、書道

性格 明るい、男っぽい

所も多少ある

主介護者 長男夫婦(主に奥様)

*既往歴 アルツハイマー型認知症

気管支喘息

脂質異常症 B型肝炎

脂質異常症 B型肝炎

脂質異常症 B型肝炎

脂質異常症 B型肝炎

脂質異常症 B型肝炎

脂質異常症 B型肝炎



デイサービス創作ゲーム

*現在の内服薬

・シングレア錠10mg

気管支の収縮を抑え気管支喘息を抑える薬。

・酸化マグネシウム錠500mg

胃酸を抑える薬。

・ツロブテロールテープ2mg

気管支を拡張、呼吸を楽にする薬。

・麦門冬湯(バクモンドウトウ)

乾いた咳を鎮める。体の潤いを補う作用があり、

潤いた喉を潤し、切れにくい痰と咳に有効的。

・五虎湯(ゴコトウ)

気管支喘息に効果がある。

気管支喘息に効果がある。

気管支喘息に効果がある。

気管支喘息に効果がある。

気管支喘息に効果がある。

気管支喘息に効果がある。

*生い立ち

昭和6年 横浜市港北区に7人兄妹の3番目、長女として生まれる。尋常

小学校を卒業後洋裁学校へ入学。

卒業後「ナイガイ」に勤務する。

その後結婚し、川崎市川崎区藤崎に転居。

長男、次男、三男を出産する。

子供たちが成人した50歳過ぎに離婚し、横浜市へ転居。

東急田園都市線駅内の売店に勤める。

70歳の時に売店を退職し、川崎市の次男と同居。

77歳の頃から平塚の知り合い宅を訪問するようになるが、川崎の住まいに戻れなくなり、息子たちが度々迎えに行くようになった。

同時にお金の管理もだんだん出来なくなった。

そのような状況から病院を受診し、認知症と診断される。

78歳の時に介護申請し、要支援、要介護2と進み、

日常の作業は出来るものの、お金の管理ができず

息子が管理するようになる。

80歳の頃デイサービスへ週3日通い安定した生活を送れるようになる。

84歳の時近所に住む話し相手が亡くなり、精神的なバランスを崩し昼夜が逆転し、近隣の方に迷惑をかけたり、買い物をした事を忘れたり、夜中に徘徊行動が見られるようになる。

ケアマネジャーの勧めを受け、生活のリズムを取り戻す為にショートステイを行い、持続的に生活のリズムを保つ為にグループホームに入居する事となる。

*現在のADL

・歩行

自立歩行ですがたまにフラツク事があります。右膝が痛くなる事がありますが、少し時間がたつと忘れてしまう事もあります。

・排泄

自ら行かれる事がほとんどです。夜間のトイレ回数が多い。リハビリパンツ使用。

・入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴

入浴



衣服の着脱は自立され、お1人でされています。入浴時は転倒防止のため見守りが必要。

・食事

普通食で自立されています。毎食ほぼ完食されています。水分補給を自分からされないで声掛けをして摂るようにして頂いています。

＜入居から現在までの様子と対応＞

明るい方で誰にでも声を掛け、大きな声で笑われています。自由奔放な方なので自分の思った事をすぐに口にされ、思い通りに行かなかつたりすると暴言を吐かれる事もあります。まず入居されている他

の方々の状態の説明をし、耳が少し遠い方、目が少し悪くよく見えない方、足が痛い方など色々な方がおられる事を都度何回も繰り返していただきました。これは共同生活の場なので守るべきルールがある事、そして皆さん一緒に暮らしている仲間である事を説明しました。

初めは「私には関係ない」「何で私がこんな事しなくちゃいけないの」「ふざけるな、バカヤロウ」などの暴言が出てきました。落ち着いてくると少しずつルールを守る事も他の人の世話もしてくれる様になりました。

*家族相談会

柳田CM…入居後7か月経過しましたが、入居時は冬場だったためか咳込みが多かったのですが、今は落ち着いているようです。ご家庭でも咳や痰がよく出ていたのですか？
Bさんの長男…今思えば年中咳をしていたように思います。外出先などで所かまわず痰を出したく

なり困っていました。思い通りにならないと唾を出したりゴミ袋に出したりしていたように思います。

柳田CM…徘徊されていたこともありましたが、目的は息子さんのところに行こうとされていたのですか？

息子さん…仲良しだった方が急逝してしまい、茶飲み友達だったその方の家へ行くつもりだったようです。本人にとつては急に居場所がなくなってしまういました。

また、テレビの音量が大きくなり近所より苦情をいただいたこともあり、オモも使えなくなりました。

高橋…今では新しい入居さんへお茶を出してくださり、気配りをして下さいます。
Bさんの長男…認知症は進んで行くと言っているが、何かをし続けることで進行が止まるのですか？
院長…何かを続けていると、様々な流れがよどまず進行を防止することがあります。

グループホームでは毎日20曲以上歌っています。ズンドコ節も歌っています。

柳田CM…本人さんはグループホームをどのように思っているのでしょうか？

息子さん…初めの1、2か月は「いつ帰れるの」と言っていたが、3、4月経ち「まだ居ていいの？」と聞かれるようになった。生活に慣れてきたのだと思う。グループホーム旭町を選んだのは1階にデイサービスがある事と、地域に出かけていくホームであること、インターネットで見たから。

*在宅介護家族相談会

柳田CM…野々目さんもお姉さんにいずれば施設に入ってもらえるようにしなければなりませんね。
野々目さん…要介護3になつて特養ホームに申し込む権利があると伝えると包丁が出て来て「そんなところに入るなら死ぬ」と言われた。今はデイサービスやショートステイに行くことが出来ている。

森下さん…うちはデイサービスへ行くのに二年間かかっている。その間家から出ることがなかった。今は行くようになっていくが、話をする事が少なくなくなった。こちらから声をかけても「うん」と言う位。もっと話をしてほしい。
院長…「犬棒かるた」をデイケアで行っているの、ご自宅でも声に出して読み上げてもらうなどしてみたら良いのでは。

グループホーム運営推進会議

外出支援にて横浜へのドライブに行き、ファミリーストランにて昼食を味わうなど入居者さん方は楽しまれています。

8月は伊勢町の盆踊りや六郷(大田区)の花火大会をグループホーム屋上より見学する等予定を立てています。

尚、特養入所等で急に2名退室者が出ており、7月末現在1室は空きがあります。入居先をお探しの方は是非お問い合わせください。

柳田。

倒壊した阿蘇神社の楼門



広島・熊本研修旅行に参加して

いつも皆様方には大変お世話になっております。今年も8月6日の原水爆禁止広島集會に参加してきました。今回は3人で行って来ました。5日の夕方に出発し6日の6時には到着。7時には平和公園に到着。すでに大勢の方が集まり多くの団体が色々な催しの準備をしていました。今年の参加者の特徴は外国の方が多く参加者の総数も今までより多かったのではと思います。今年はおバマ大統領が広島に来たせいとか広島への外国人旅行者が増えているとお好み焼き

屋さんが言っていました。只、来賓や主催者の市長発言内容が、何故原爆が落とされたのかと言った内容ではなく、原爆の悲惨さを後世に伝えて行き、核拡散を防いで行くとの内容に留まっていたのが気になりました。

資料館の展示内容も、前回入館したときと全く変わり、悲惨さがわかる展示内容だけになっていました。以前は入場した最初の館に、原子爆弾の模型が天井からぶら下げられ何故これが広島に投下されたのかもはっきりと書かれておりました。為政者によって、展示内容がこれ程替わるのかと感じた次第です。国内外からの弾圧があるのだろうなと感じました。その後、午後からは被爆者の方が主催する、「原爆と戦争展」に行き、直接被爆者の方2名から体験を聞きました。1人は広島島の爆心地に近いところで被爆した80代の男性でした。被爆して数日後故郷の福山の奥の上下（じょうげ）に帰り、そこで味噌をたくさんもら

屋根瓦が崩れた民家



いそれを食べたせいとか、白血病も発症せず今の年まで生きることが出来ている。被爆の体験を命ある限りこれからも続ける。2度と戦争をしない国にする為若い世代に話して行きたいと言われました。もう1人の方は長崎で被爆し戦争孤児として生きてこられた70代後半の方です。原爆は広島はウラン爆弾、長崎はプルトニウム爆弾、これはアメリカの人体実験の為に落としました。長崎には被爆団体が4つ有り、弁護士が後ろについて、被爆者を認めさせいろんな権利を主張する団体で有る。自分たちはアメリカの野望

を伝え、戦争の悲惨さと戦争によりたくさんの孤児が生まれ苦しい思いをしている実態を伝え、こうした世の中にならないよう声を出しつづける団体として今後も活動を続けていくと決意を述べられました。

午後からの集會は、中小高校大学生の発表と社会人の発表が有り、その後1時間市内のデモ行進が有り、市民に集會の内容をアピールしました。

「アメリカは核を持って帰れ」「原爆投下を謝罪しろ」といった内容のアピールをしました。市民の方の反応はとても良かったです。

その後熊本に行きました。益城町と熊本城、南阿蘇村の阿蘇神社、水前寺公園を見学しました。テレビで見る映像と現地に行ってみる光景は違った物がありました。本場に2回目の本震が若い人でも「もうこれで自分も終わるか」と思った位大きかったです。ホテルも配管が壊れた所も有り道路も修復されてはいるがでこぼこしているところや通行止め

の所もありブルーシートがあちこち広範囲にありました。益城町役場は日曜日だったため、人影はありませんでしたが、プレバブで家屋倒壊の証明書受付コーナーや倒壊した建物を取り壊す受付などがあり、その順番を待ったためのテントもありました。まだ壊れた自宅に帰れなくてあちこちの被災者収容施設で過ごしておられる人が多くおられるとのことでした。

地震後4ヶ月が経過し、同じ日本の国でこうした現実があることに目を背けることは出来ません。私たち介護の現場をになう者として、共感出来る心を持ち続けたいと思います。

柳田居宅 柳田

倒壊した公衆便所



盆踊り、お御輿見学



8月6日に伊勢町公園で盆踊りがあり、毎年の恒例として今年もグループホームの皆さんで参加しました。

当日の夕方には涼しくなっていて盆踊りにはちょうど良い気候でした。伊勢町商店街は出店が出ていて賑やかで、伊勢町公園に近づくとお祭りの音が聞こえてきていよいよという感じ。公園の盆踊り会場はたくさん人が集まっています、盆踊りが始まるのをみんなで待っていました。しばらくするとアナウンスがあり盆踊りが始まりました。

ホームの利用者さんも一緒に踊り、きよしのズンドコ節などホームでよく歌っている曲が流れる

と皆さん楽しそうに踊られました。足が弱って踊れない方もみんなが楽しそうに踊っているのを見て自分も楽しかったと話していました。

ホームに入居する前に伊勢町に住んでいた方は、どこで肉を買ったとか、なんでも色々売っているお店があったとか、以前の伊勢町商店街をよく覚えていて、昔はもつと賑やかだったと少し寂しそうに話してくれました。

翌朝には町内のお御輿を見学しました。毎年ホームの前をお御輿が通るので朝からホームの前に椅子を並べての見学。

お御輿が近づいてくると賑やかな掛け声に利用者さんの期待も上がっている様子。お御輿が来ると「わあ、大きいね」と声を漏らしていました。お祓いしてもらい、次のお御輿も見学。昔は女の人はお御輿に触ってもいけなかったのに今は女の人が担いでいるね。女の人も強くなつたのかな。と感心される方もいらつしやいました。室内に戻ってからもお御



輿やお祭りの話をして、昔の掛け声はこうだったとか郡上八幡のお祭りが良かったとか、皆さん昔のお祭りのことを思い出して話して下さいました。

グループホーム旭町 漆原

風鈴市

7月20日、晴れ、前日の雨交じりの天気から、今日は、さわやかな天気、風もあり、最高の風鈴見学になりました。

午後1時半、2台の車で川崎大師風鈴市に向け出発しました。

大師の駐車場につくと風鈴の音色が風に乗り微

かに響いてきました。利用者さんは心浮き浮き、会場へ入る準備をしました。車イスに乗る利用者さん、それを押すのを手伝ってくれる利用者さん、仲良く手をつなぐ利用者、スタッフも仲間に入り、熱中症と他のお客さんに迷惑をかけないように気をつけながら、風鈴の音色に誘われながら会場の中に入っていました。

見物客の多さに驚きましたが、全国から出品した傑作の風鈴に利用者さんもスタッフも圧倒されました。

利用者さんも口々に「このガラスの風鈴いいね。」

「やっぱり南部鉄の方がいいかな。」

「こっちは有田焼だって見たよ・・・」この風鈴わての田舎よお

「*これの方が形が良いよ *この絵柄が気に入った *風鈴はやっぱり音色だね・・・」

と、目を輝かせて各地の色とりどりの風鈴に見入っていました。

また、純金の風鈴を目

の前にしては、利用者さんもスタッフも「うーん、高そう、いくらするの、綺麗だね」の後には、言葉がありませんでした。

全員で記念のスナップ写真を撮り、お参りを済ませて、水分補給を兼ねて会館で少し休憩をとり、まだ見てない風鈴飾りのコースを見ながら、風鈴の音色に癒やされ、後ろ髪を引かれる思いで会場を後にして、笑顔で帰ってきました。

おやつの時間も、風鈴の話で盛り上がり、「来年も皆で行こうよ」とリクエストされました。利用者さんもスタッフも、本当に楽しい、風鈴市でした。

柳田デザイナービス 新井幸二

